

熊本 R&D センターの設立について 新型コロナウイルス感染症を受け、オフィスの地方分散を推進

アステリア株式会社（旧：インフォテリア株式会社、本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、熊本県熊本市内に研究開発拠点を新設することを発表します。また、拠点設立に際して、熊本県知事 蒲島 郁夫氏、熊本市長 大西 一史氏立ち会いのもと、熊本市との間で進出協定書を締結しました。

■『熊本 R&D センター』設立の目的

アステリアは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、ニューノーマルに向けた施策として1ヶ所にオフィスを集中させない「集中から分散」戦略を推進。その一環として、熊本 R&D センターを新設します。熊本 R&D センターでは、ソフトウェア開発、保守及び技術サポートセンター業務を行う研究開発部門の拠点、及びアステリアのサテライトオフィスとして設立します。



オンライン調印式の様子（7月17日開催）
左：大西市長 / 中央：平野 / 右：蒲島知事

<『熊本 R&D センター』の概要>

事業所名	研究開発本部 熊本 R&D センター
責任者	センター長 中山 芳夫（なかやま よしお）
所在地	熊本県熊本市中央区新市街 1-28
操業開始時期	2020年8月1日
事業内容	ソフトウェア開発、保守および技術サポート等
従業員（計画）	10名

■ 今後の見通し

開所時は3名で開始をしますが、その後できるだけ早い時期に10名への拡充を計画しています。また、採用にあたっては、熊本県内の雇用だけでなく、熊本県/熊本市への I/J/U ターンも対象とし、地域の高度 IT 人材の拡充への貢献を目指します。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

アステリア株式会社（2018年10月にインフォテリアから社名変更）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に8,520社（2020年3月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで安全に持ち運ぶことのできるサービスのスタンダードとして、1,562件（2020年3月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.asteria.com/jp/news/press/2020/07/17_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR室：長沼史宏、齋藤ひとみ
TEL:03-5718-1297 / 携帯:080-7834-0841（長沼） / E-mail: press@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。